

多摩地域26市における戸別収集の導入状況及び導入時期

自治体名	有料化実施年月日	戸別収集導入時期				戸別収集実施時期
		有料化前	有料化同時期	有料化後	未実施	
青梅市	平成10年10月1日		○			
日野市	平成12年10月1日		○			
清瀬市	平成13年6月1日			○		令和2年10月
昭島市	平成14年4月1日			○		平成16年10月
福生市	平成14年4月1日	○				平成11年
東村山市	平成14年10月1日		○			
羽村市	平成14年10月1日		○			
調布市	平成16年4月1日		○			
八王子市	平成16年10月1日		○			
武蔵野市	平成16年10月1日		○			
稲城市	平成16年10月1日	○				平成13年1月
あきる野市	平成16年10月1日		○			
小金井市	平成17年8月1日		○			
町田市	平成17年10月1日		○			
狛江市	平成17年10月1日	○				昭和30年
西東京市	平成20年1月1日		○			
多摩市	平成20年4月1日	○				平成12年
三鷹市	平成21年10月1日	○				(従来から)
府中市	平成22年2月2日		○			
国分寺市	平成25年6月1日	○				平成19年1月15日
立川市	平成25年11月1日		○			
東大和市	平成26年10月1日		○			
国立市	平成29年9月1日				○	
東久留米市	平成29年10月1日		○			
小平市	平成31年4月1日		○			
武蔵村山市	未実施				○	
自治体数		6	16	2	2	

※戸別収集導入については、可燃ごみ及び不燃ごみの実施時期

※戸別収集と有料化の実施時期の差が1年以内については同時期とみなす。

【理由】※市議会答弁及び基本方針などから抜粋
(同時実施)

◆小平市(審議会答申)

戸別収集を先行して実施した場合の、収集経費の増加や市民の混乱を避けるため。

◆東大和市(家庭系廃棄物有料化方針)

家庭形廃棄物有料化の導入により、経済的インセンティブを活用した一般廃棄物の排出抑制と戸別収集の実施による排出者責任の明確化等により更なる廃棄物減量が得られる。

◆東久留米市(家庭ごみ有料化に向けた実施計画)

更なるごみの減量化・資源化に向け、全市民が主体となって取り組める環境を整備するため、ボックスによる収集方式について見直しを図り、更なるごみ減量の効果的な手段として、採用されている戸別収集を前提とした家庭ごみの有料化が必要。

(戸別収集先行)

◆福生市(有料化導入時の議会答弁)

リサイクルの推進の観点から、ごみの有料化の話とは区分を分けて考えており、当時、有料化については念頭になかった。

◆国分寺市(有料化導入時の議会答弁)

まず戸別収集を先行し、有料化については減量施策を展開しながら状況を勘案して検討していく方針であった。

(有料化先行及び戸別収集未実施)

◆清瀬市(有料化導入時の議会答弁)

収集費用をこれ以上確保することは、財政状況から不可能であり、有料化にあわせ収集回数を減らすことについての理解が得られればとの考えを持っている。

◆国立市(有料化導入時の議会答弁)

戸別収集したときの経費が増大となることを懸念する声、良好な集積所を保有している地域からは、無理に戸別収集をするべきではないといった声を受けたため。

現在は今後も集積所方式を維持するが、集積所の実情に応じて、戸別収集について柔軟に対応していく。